令和７年

5月号 保育所だより

社会福祉法人平田保育会
みなみ保育所
６２－２３７４
090－5700－9459

春の暖かな陽気に誘われ、湯谷川沿いのつつじが一斉に花を咲かせました。子どもたちは虫を探したり、固定遊具で遊んだりと、戸外での遊びを楽しんでいます。

入所、進級から１か月がたち、入所した子どもたちも笑顔で好きな遊びを見つけて遊べるようになりました。

朝夕の気温差があり疲れが出やすい頃です。十分な休息をとり、休日のお出かけなどは無理のない計画を立て、水分補給に気を付けながら元気に過ごしましょう。

うさぎ組

りす組

ひよこ組

入れてみよう

〇保育目標～戸外でのびのびと遊ぼう

さわやかな季節のもと、所庭でかけっこをしたり、砂場や固定遊具で遊んだりします。また、散歩にも出かけ、のびのびと全身を使って遊べるよう保育をします。

〇生活目標～生活リズムを整えよう

生活リズムを整えることは、子どもたちが元気に過ごすためにとても大切です。休息をとりながらゆったりと過ごし、年齢に合わせて“早寝・早起き・朝ごはん”の大切さについて伝えていきます。また、チャレンジシートを実施しますのでご協力をよろしくお願いいたします。

～元気なあいさつや返事をしよう

元気にあいさつをすることは、あいさつを交わす気持ちよさを感じ、身近な人により親しみを感じるきっかけとなると思います。保育所ではあいさつが習慣となるよう、大人が子どもたち一人一人に気持ちの良いあいさつをし、手本となるようにしていきます。保護者の皆さまも一緒に気持ちの良いあいさつをかわしましょう。

お知らせ・お願い

●個人面談について（１３日～6月6日）

全クラスのお子さんの様子について、お話を聞かせていただきます。よろしくお願いいたします。

●ゆめネットでのお知らせについて

お知らせやお願い、準備物につきましては、ゆめネットでの配信でもお知らせします。読まれましたら、既読済みのボタンを押してお知らせください。また、玄関のタブレット付近、ホワイトボードでの貼り出しによるお知らせもしますので、朝夕の送迎時には必ず見てください。

●通所リュックの置き場所について（うさぎ・くま・きりん・ぞう組）

登所時は、個人用のロッカーにかけていただくようお願いします。降所時は、くま組は夕刻保育で使用するため、廊下にあるかばん掛に置きます。うさぎ・きりん・ぞう組は保育室に入っていただき、名前を確認していただいて、ロッカーから持ち帰ってください。

●ひらたCATV撮影について

１４日（水）は、くま・きりん・ぞう組の『元気いっぱいひらたっ子！』パート１の取材があり、子どもたちの様子を撮影されます。年長児（出席番号前半のお子さん）はインタビューの撮影があります。

【元気いっぱいひらたっ子！放送日時】
5月23日（金）・30日（金）午後6時15分～（1時間おきに放送）
5月31日（土）・6月1日（日）午後7時15分～（3時間おきに放送）

職員出張・研修のお知らせ　※印は午後からの研修
１６日※特別支援コーディネーター研修・就学相談説明会～多久和
２０日※水泳プール安全管理講習会～樋野
１５日　キャリアアップ研修（保護者支援・子育て支援）～原智子
（６月６日まで Web）
１９日※出雲市理事長会総会～安食亜希子
２０日※島根県私立保育連盟総会～安食亜希子
２２日※出雲市保育協議会総会～安食亜希子・森脇・佐々木
２７日※平田中学校区保幼小中連携推進委員会～安食亜希子

ぞう組

＜保育の様子＞

くま組

大きな川ができたよ

きりん組

5月の予定

３日（土）憲法記念日（祝日）
４日（日）みどりの日（〃）
５日（月）こどもの日（〃）
６日（火）振替休日
８日（木）夏野菜植え（４・５歳児）＜わくわくデー＞
１２日（月）身体測定週
〃　巡回相談日（山田心理相談員来所）
〃　チャレンジシート週（～１６日まで）
１３日（火）個人面談（全所児　～６月６日まで）
〃　保育所開放日
１４日（水）元気いっぱいひらたっ子！撮影（３・４・５歳児）
１５日（木）誕生会
１６日（金）尿検査提出日
２０日（火）春の遠足（４・５歳児）✿　弁当の日
２１日（水）集金日
２２日（木）さつま芋苗植え（東福町畑：５歳児）
２３日（金）避難訓練
２４日（土）土曜共同保育（当所）
２９日（木）保育所開放日
３０日（金）布団持ち帰り日

６月の主な行事

６日（金）節句会＜ふれあいデー＞✿

✿印の行事につきましては、後日お便りで詳しくお知らせします。

＊ほっとルーム＊～「あいさつ」をしましょう～

「あいさつは基本だから」とか「あいさつは常識だから」とか「あいさつはマナーだから」というよりも、「あいさつをされるとうれしいから。」「あいさつをされないとさみしいから。」単純にただそれだけのような気がします。

だったら、子どもにあいさつのしかたを教えるときは「あいさつをきちんとしなさい」と言うよりも「あいさつはプレゼントと同じなのよ。プレゼント、もらうとうれしくない？サンタさんのようにたくさんのお友達にプレゼントをあげたらどう？きっとみんな喜ぶわよ。」言い方ひとつによって、それをするときの気持ちは違います。

あいさつは、しなければならないからするのではなく、されると（すると）うれしいからする。そう思ってするほうがきっと気持ちよくあいさつができると思います。

『自然にかしこい子に育つかんたんゲームとことばかけ』黎明書房出版　斎藤道雄著　より抜粋

小さなお子さんが目を合わせてにっこり笑う、手を振ったりタッチをしたりして仕草で伝える、小さな声でも、元気な声でも「おはようございます。」と伝えてくれる、それは全て「あいさつ」です。言葉から気持ちが伝わると、うれしいですよね。このうれしさを大人も子どもも伝え合っていけると良いですね。

～ご寄贈ありがとうございました～地域の方～花・文房具他